

ふじだな



No.59

令和8年6月16日
大阪市立野田小学校
校長 川辺 智久

子どもたちを SNS トラブルから守るために

スマートフォンやタブレットは、今や子どもたちにとって身近な存在となっています。連絡手段としてだけでなく、SNS や動画視聴、オンラインゲームなど、さまざまな場面で活用されています。一方で、便利な道具であるからこそ、使い方によっては人間関係のトラブルやいじめにつながる危険性もあります。

近年、子ども同士のトラブルの背景に、SNS やオンラインゲームでのやり取りが関係しているケースが全国的に増えています。

例えば、グループチャットで特定の子どもだけを仲間外れにしたり、本人がいないところで悪口を書き込んだりするケースがあります。また、友達の写真や動画を無断で投稿したり、オンラインゲーム内のチャットで心ない言葉を投げかけたりすることもあります。中には、直接名前を書かなくても、仲間内だけが分かる形で特定の相手を傷つける投稿が行われることもあります。こうした行為は、教室の中では見えにくく、大人が気付きにくいという特徴があります。さらに、インターネット上では言葉や画像が瞬時に広がり、一度発信したものを完全に消すことは容易ではありません。

子どもたちは成長の途中にあり、SNS 上でのやり取りのルールやマナー、人権意識について十分に理解しないまま利用していることがあります。また、画面越しのやり取りでは相手の表情や反応が見えないため、自分の言葉が相手をどれほど傷つけるのかを想像できないまま発信してしまうこともあります。そのため、「うちの子は大丈夫」「トラブルには関わらないだろう」と考えていても、知らないうちに被害者にも加害者にもなってしまう可能性があります。

そこで、改めてお願いしたいのは、スマートフォンやタブレットを持たせることは、単に機器を与えることではなく、その使い方を見守り、導いていくことも含めた大人の責任であるということです。

もちろん、子どもの成長に応じて自主性を尊重することは大切です。しかし、「スマホは買ってあげたけれど、使い方は自分で考えなさい」という状況では、子どもたちは適切な判断ができないことがあります。自転車に乗るときに交通ルールを教えるように、インターネットを利用するときにもルールやマナーを繰り返し伝えていくことが欠かせません。

「どんなアプリを使っているのか」「どんな人とやり取りをしているのか」「困っていることはないか」など、日頃から親子で話題にしていいただければと思います。また、利用時間や利用場所、SNS の利用方法について家庭でルールを決め、成長に応じて見直していくことも大切です。

(※裏面に続く)

※「校長室だより」カラー版は、本校ホームページ「配布文書」にアップしています。



(※表面より)

また、保護者の皆様の中には、「子どもの方が機器に詳しいのでよく分からない」と感じておられる方もいらっしゃるかもしれません。しかし、操作方法をすべて理解する必要はありません。大切なのは、スマートフォンの向こう側にも人がいること、自分が発した言葉には責任が伴うこと、相手を傷つける行為は決して許されないこと、そして困ったときには必ず大人に相談することを、繰り返し伝え続けることです。

子どもたちが安心してインターネットを利用できる環境をつくるためには、学校だけでなく家庭での見守りが大きな力となります。スマートフォンや SNS は便利な道具ですが、その利用を子どもだけに任せるのではなく、大人が関心をもちながら成長を支えていくことが大切です。

子どもたちが被害者にも加害者にもならず、互いを大切にしながら安全にデジタル社会を生きていけるよう、今一度、ご家庭でスマートフォンや SNS の利用について話し合う機会をもってくださいませよう願っています。



のだっこ Diary

★子どもたちの学校生活のようすは、本校ホームページでも紹介しています。随時更新していますので、ぜひご覧ください。

【あいさつの木を育てよう週間】6月1日(月)～5日(金)

今年度、新たな取組として「あいさつの木を育てよう週間」を実施しました。期間中、子どもたちが元気よくあいさつができたときに教職員からシールを受け取り、全校みんなで「あいさつの木」を育てていきました。

朝の登校時には、学校の玄関で「おはようございます！」という明るい声があちらこちらから聞こえ、学校全体がさわやかな雰囲気になっていました。また、代表委員の子どもたちが玄関に立ち、登校してくる友達を笑顔で迎えながら、気持ちのよいあいさつを呼びかけていました。その声に応えるように、子どもたちも元気いっぱいあいさつを返し、友達同士や教職員とのあいさつの輪が広がっていました。

1週間の取組を通して、友達や教職員、地域の方々との気持ちのよいあいさつが数多く交わされ、「あいさつの木」には全校児童が集めたシールがたくさんまりました。色とりどりの葉でいっぱいになった木は、子どもたち一人一人の努力の証となっています。

あいさつは、人と人との心をつなぐ大切な言葉です。これからも、自分から進んであいさつをすることを大切にしながら、笑顔あふれる学校づくりを進めていきたいと思えます。



※「校長室だより」カラー版は、本校ホームページ「配布文書」にアップしています。